モジャコ漁場一斉調査

天真正勝・鎌田信一郎・長尾和年・須原　修・
三好亮徳・藤岡保史・渋江　文・三浦　勇

モジャコ漁業解禁に先立ち，流れ藻及びモジャコの来遊状況と漁場環境について事前調査を実施し，調査結果を関係機関へ広報した。なお，本調査は平成20年度資源評価調査事業により実施した。

調査方法

1）調査日　平成20年4月15，21日及び5月16日

2）調査船　漁業調査船「とくしま（80トン，1200馬力）」

3）調査内容

図1及び図2に示した航走ライン上で，目視により潮境や流れ藻を確認し，網口9.5mのまき網を用いて流れ藻を採集した。そして，直ちに船上で流れ藻からモジャコ等の魚介類を分別し，氷冷して水産研究所へ持ち帰った。そのサンプルは流れ藻毎に魚種査定を行い，モジャコについては個体別の尾叉長と体重を，その他の魚介類は個体数のみを計数した。

その他，古野電気製水温計T120-Eで表層水温の連続観測を行った。

結　果

採取した流れ藻は4月に図１に示した地点で計3個，5月に図2に示した地点で計1個の合計4個であった。それら流れ藻があった地点での表層水温は4月では18.0℃～18.3℃，5月では20.9℃であった。モジャコは4月15日の流れ藻採集地点①以外で採捕され，4月には計25尾，5月には6尾の合計31尾であった。

採捕されたモジャコの尾叉長は，4月では表1及び図3のとおり41～103mm，5月では表1及び図4のとおり17～148mmであった。

その他，モジャコ以外にはカンパチ，マアジ，メバル属，メジナ属等が採捕された（表１）。

以上の結果を「モジャコ漁場調査結果」として随時速報により関係機関へ情報提供した。

平成20年度の徳島県におけるぶり稚魚（もじゃこ）特別採捕期間は5月1日から5月30日までの30日間であった。期間中流れ藻は多く，魚体は小さいながら堅調な採捕状況であった。

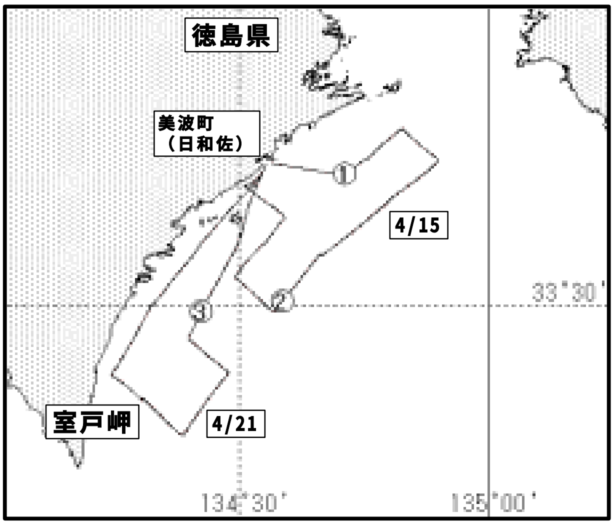

図1　平成20年4月15,21日のモジャコ調査航跡及び流れ藻採集地点(①～③)

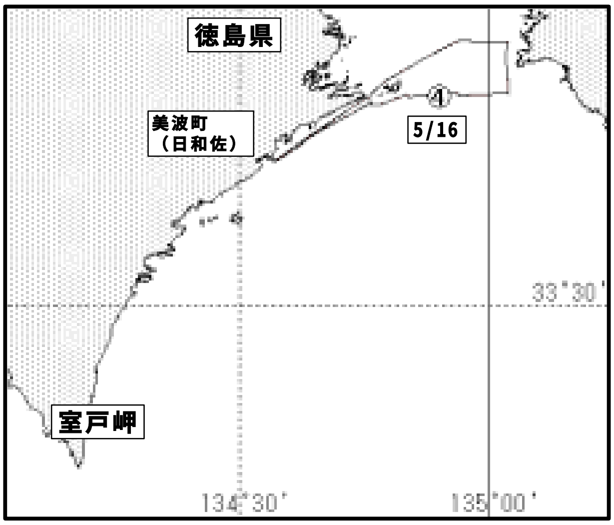

図2　平成20年5月16日のモジャコ調査航跡及び流れ藻採集地点(④)

表1　平成20年度　モジャコ調査結果概要

採集年月日	採集地点	緯度経度(世界測地系WGS-84) 北緯	東経	表層水温(℃)	流れ藻 直径(m)	色	採集方法	ﾓｼﾞｬｺ採捕数	ﾓｼﾞｬｺ FL(mm)	モジャコ以外 ｶﾝﾊﾟﾁ	ﾏｱｼﾞ	ﾒﾊﾞﾙ属	ﾒｼﾞﾅ属	ﾒﾀﾞｲ	ｲｼｶﾞｷﾀﾞｲ
4/15	1	33° 42.5′	134° 42.78′	18.0	0.5	褐色	巻網	0	-			1	23		1
	2	33° 30.39′	134° 35.23′	18.3	1.5	黄褐色	巻網	10	41～66		1	4			1
4/21	3	33° 29.41′	134° 25.38′	18.2	2.0	褐色	巻網	15	47～103	1		99	2	9	
5/16	4	33° 49.92′	134° 54.06′	20.9	1.5	黄褐色	巻網	6	17～148				7		
							合計	31	17～148	1	1	104	32	9	2

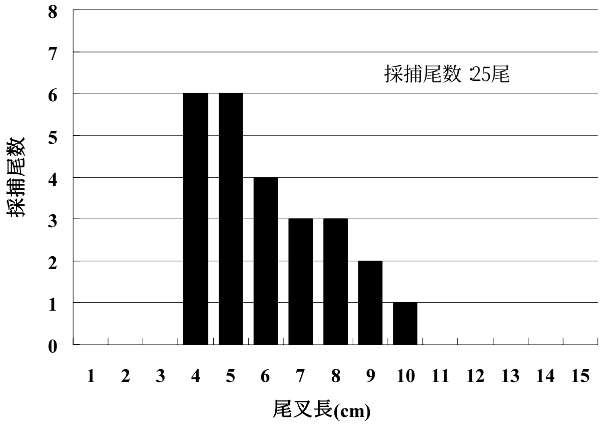

図3　平成20年4月に採補されたモジャコの尾叉長組成
（4月15,21日）

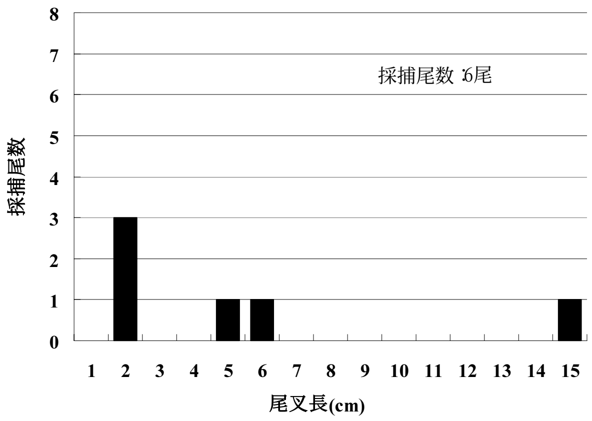

図4　平成20年5月に採補されたモジャコの尾叉長組成
（5月16日）